平成26年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月26日

上場会社名　ダイドードリンコ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2590　URL　http://www.dydo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高松　富博
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 八尾　雅幸　TEL 06-6222-2641

四半期報告書提出予定日　平成25年9月3日　配当支払開始予定日　平成25年9月24日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第2四半期の連結業績(平成25年1月21日～平成25年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第2四半期	77,650	10.3	2,748	△40.6	2,794	△38.4	1,711	△33.9
25年1月期第2四半期	70,404	△4.1	4,625	21.4	4,532	29.1	2,588	247.6

(注)包括利益　26年1月期第2四半期　2,232百万円　(△15.3%)　25年1月期第2四半期　2,634百万円　(202.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第2四半期	103.31	―
25年1月期第2四半期	156.24	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第2四半期	156,010	80,614	50.6
25年1月期	140,487	79,097	55.1

(参考) 自己資本　26年1月期第2四半期　78,890百万円　25年1月期　77,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	―	20.00	―	40.00	60.00
26年1月期	―	30.00			
26年1月期(予想)			―	30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 1月期の連結業績予想(平成25年 1月 21日～平成26年 1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,300	7.0	8,000	0.8	7,750	0.3	4,410	0.0	266.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、【添付資料】3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期2Q	16,568,500 株	25年1月期	16,568,500 株
② 期末自己株式数	26年1月期2Q	1,576 株	25年1月期	1,553 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期2Q	16,566,934 株	25年1月期2Q	16,566,947 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策への期待感から円高の是正や株価の上昇など景気回復の兆しが見られたものの、海外経済の下振れによる影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

飲料業界におきましても、個人消費の一部に持ち直しの動きは見られるものの、節約志向は依然継続しており、さらに低価格化が進行するなど販売競争が益々激化する厳しい状況が続いております。

こうした中、当社グループは自販機事業の維持・拡大並びに流通事業の強化・拡充を図りつつ、コーヒー飲料を主軸として各チャネルに即したマーケティング戦略を展開し、ブランドを一層強化させることで、更なる収益力強化に注力してまいりました。

また、営業効率の改善に向けあらゆる業務の見直しを実施するなど、引き続き徹底したコストコントロールを行い、利益確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、77,650百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益2,748百万円（前年同期比40.6%減）、経常利益2,794百万円（前年同期比38.4%減）、四半期純利益1,711百万円（前年同期比33.9%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①飲料販売部門

商品面では、昨年秋にブランドを一新いたしました「ダイドーブレンド」において、「ブレンドＢＬＡＣＫ」、「ブレンドミルクコーヒー」等を新たに発売し、ラインアップの充実を図るとともに、ブレンドが織り成す豊かで複雑な味わいの素晴らしさを広く訴求し、幅広いユーザーの囲い込みとシェアの維持拡大に注力しました。

自販機の導入につきましては、消費者に支持される注目度の高い新しい自販機の積極投入と、不採算先自販機の撤去やスクラップ＆ビルドという投資効果に主眼を置いた設置ロケーションの選定を行い、採算性を一層重視した強固な全自販機の見直しに注力しました。

また、導入する自販機につきましては、「ヒートポンプ自販機」、「ＬＥＤ照明自販機」など地球環境に優しい節電効果の高い「エコ自販機」の徹底した開発・採択に努めました。また災害時における迅速で有効な支援ツールとなる「災害救援自販機」や、収益金の一部を募金として寄付する「緑の募金自販機」、「盲導犬育成募金自販機」、「ギャラクシー募金自販機」等の「社会貢献型自販機」を投入するなど、地域社会や消費者に支持される新しい自販機の積極投入を行いました。

以上の結果、飲料販売部門の売上高は64,802百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

②飲料受託製造部門

近年、消費者ニーズはドリンク剤から健康食品やサプリメント（健康補助食品）への流れに変わり、ドリンク剤と競合する商品が数多く発売されるようになりました。そうしたニーズをいち早く掴み、従来のドリンク剤のノウハウを礎として、「美容と健康」を謳った女性向け商品を開発する体制をつくり上げたことから、多方面にわたり受注を獲得することができるようになりました。さらに営業開発体制の強化並びに生産体制の整備が年々拡充したことに加え、大手医薬品等有力メーカーの生産スタイルが、「自社生産」から「ＯＥＭ生産」にウエイトシフトしたことなどにより、傾向的には安定した受注を確保できるようになりました。

以上の結果、飲料受託製造部門の売上高は5,337百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

③食品製造販売部門

ドライフルーツゼリー市場においてトップシェアを有する株式会社たらみの発行する全ての株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、前第２四半期連結会計期間より新たなセグメントといたしました。ダイドードリンコが夏の新商品として発売した、とろ～り“おとなの”贅沢食感ゼリー飲料「甘いひととき白桃ジュレ」の共同開発を行うなど、第３の柱となる新分野の事業を獲得したことで、将来の持続的成長を実現できる新たなビジネスチャンスの創出を図り、当社グループの更なる企業価値向上に注力いたしました。

以上の結果、食品製造販売部門の売上高は7,510百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、有価証券や売上債権の増加などにより、前連結会計年度末と比較して15,522百万円増加し、156,010百万円となりました。

負債は、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末と比較して14,005百万円増加し、75,396百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比較して1,516百万円増加し、80,614百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して2,289百万円増加し、31,341百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が2,794百万円となったことや、仕入債務の増加などにより5,138百万円の収入（前年同期は5,165百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に資金を現金及び現金同等物から有価証券にシフトしたことにより4,531百万円の支出（前年同期は3,676百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入れによる収入により1,596百万円の収入（前年同期は439百万円の収入）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、低価格化が進行するなど企業間競争は益々厳しさを増し、当社グループにとっても大変厳しい経営環境が続くものと予想されますが、「ダイドーブレンド」ブランドの一層強化に注力し、引き続き徹底したコストコントロールを行うなど、更なる収益力強化に努めてまいります。

平成26年1月期の通期の業績予想につきましては、平成25年２月25日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年１月20日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年７月20日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,135	35,762
受取手形及び売掛金	14,505	19,812
有価証券	14,263	20,975
商品及び製品	5,309	6,947
仕掛品	10	14
原材料及び貯蔵品	1,281	1,532
その他	2,256	2,958
貸倒引当金	△12	△20
流動資産合計	70,750	87,982
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	11,680	16,055
その他（純額）	20,376	19,111
有形固定資産合計	32,056	35,167
無形固定資産		
のれん	5,981	5,828
その他	6,438	6,204
無形固定資産合計	12,419	12,032
投資その他の資産		
投資有価証券	19,484	14,671
その他	5,815	6,195
貸倒引当金	△38	△39
投資その他の資産合計	25,261	20,828
固定資産合計	69,737	68,027
資産合計	140,487	156,010

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年１月20日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年７月20日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,638	21,391
短期借入金	2,461	3,871
未払金	12,963	17,604
未払法人税等	1,182	997
賞与引当金	976	1,036
役員賞与引当金	－	19
その他	8,600	8,289
流動負債合計	42,822	53,209
固定負債		
長期借入金	8,298	12,467
退職給付引当金	146	160
役員退職慰労引当金	678	705
その他	9,445	8,854
固定負債合計	18,568	22,186
負債合計	61,390	75,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,924	1,924
資本剰余金	1,464	1,464
利益剰余金	73,919	74,968
自己株式	△3	△3
株主資本合計	77,304	78,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	203
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	17	334
その他の包括利益累計額合計	66	537
少数株主持分	1,726	1,723
純資産合計	79,097	80,614
負債純資産合計	140,487	156,010

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月21日 至　平成24年７月20日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月21日 至　平成25年７月20日）
売上高	70,404	77,650
売上原価	31,777	35,556
売上総利益	38,627	42,094
販売費及び一般管理費	34,002	39,345
営業利益	4,625	2,748
営業外収益		
受取利息	91	235
有価証券売却益	0	70
受取賃貸料	66	29
その他	345	288
営業外収益合計	503	623
営業外費用		
支払利息	433	364
持分法による投資損失	10	59
その他	151	153
営業外費用合計	595	577
経常利益	4,532	2,794
特別利益		
関係会社出資金売却益	179	－
特別利益合計	179	－
税金等調整前四半期純利益	4,712	2,794
法人税等	2,066	1,036
少数株主損益調整前四半期純利益	2,646	1,757
少数株主利益	57	46
四半期純利益	2,588	1,711

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月21日 至　平成24年７月20日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月21日 至　平成25年７月20日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,646	1,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	157
繰延ヘッジ損益	－	△0
為替換算調整勘定	7	99
持分法適用会社に対する持分相当額	0	218
その他の包括利益合計	△12	474
四半期包括利益	2,634	2,232
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,575	2,182
少数株主に係る四半期包括利益	59	49

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月21日 至　平成24年７月20日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月21日 至　平成25年７月20日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,712	2,794
減価償却費	5,528	5,998
のれん償却額	－	153
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△5	26
貸倒引当金の増減額（△は減少）	21	8
賞与引当金の増減額（△は減少）	87	60
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	19	19
受取利息及び受取配当金	△109	△256
支払利息	433	364
持分法による投資損益（△は益）	10	59
有価証券売却損益（△は益）	△0	△70
関係会社出資金売却損益（△は益）	△179	－
売上債権の増減額（△は増加）	△2,210	△5,306
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,105	△1,898
仕入債務の増減額（△は減少）	2,041	4,780
未払金の増減額（△は減少）	△764	△402
その他の資産の増減額（△は増加）	78	△293
その他の負債の増減額（△は減少）	△564	369
小計	7,993	6,406
利息及び配当金の受取額	133	290
利息の支払額	△431	△357
災害損失の支払額	△0	－
法人税等の支払額	△2,529	△1,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,165	5,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,885	△3,489
定期預金の払戻による収入	2,723	3,877
有価証券の取得による支出	△16,495	△19,495
有価証券の売却及び償還による収入	40,198	15,599
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,156	△4,059
有形固定資産の売却による収入	49	0
投資有価証券の取得による支出	△2,888	△508
投資有価証券の売却及び償還による収入	54	3,620
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△11,922	－
関係会社出資金の売却による収入	249	－
関係会社出資金の払込による支出	△1,299	－
事業譲渡による収入	31	－
長期貸付けによる支出	△0	－
長期貸付金の回収による収入	23	0
その他	△6	△76
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,676	△4,531

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月21日 至　平成24年７月20日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月21日 至　平成25年７月20日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	21	10
短期借入金の返済による支出	△41	△10
長期借入れによる収入	5,240	7,032
長期借入金の返済による支出	△251	△1,453
リース債務の返済による支出	△3,979	△3,266
配当金の支払額	△497	△662
少数株主への配当金の支払額	△52	△52
自己株式の取得による支出	－	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	439	1,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	85
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9,291	2,289
現金及び現金同等物の期首残高	19,424	29,051
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△9	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,706	31,341

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年１月21日 至　平成24年７月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額（百万円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）２
	飲料販売部門（百万円）	飲料受託製造部門（百万円）	食品製造販売部門（百万円）	計（百万円）		
売上高						
外部顧客への売上高	64,851	5,552	－	70,404	－	70,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	397	－	397	△397	－
計	64,851	5,949	－	70,801	△397	70,404
セグメント利益	3,756	867	－	4,623	1	4,625

（注）１．セグメント利益の調整額1百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、棚卸資産の調整額1百万円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年１月21日 至　平成25年７月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額（百万円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）２
	飲料販売部門（百万円）	飲料受託製造部門（百万円）	食品製造販売部門（百万円）	計（百万円）		
売上高						
外部顧客への売上高	64,802	5,337	7,510	77,650	－	77,650
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	390	10	400	△400	－
計	64,802	5,728	7,520	78,051	△400	77,650
セグメント利益	1,731	700	321	2,753	△5	2,748

（注）１．セグメント利益の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去0百万円、棚卸資産の調整額△5百万円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。